

ども	合って集団活動ができる。 ○自然、人間、物を大切にする。	協力してやろうとする気構えが弱い。 ○自然愛護の心は、全体としては関心がうすい。	f 意図的に自然に接する機会を多くし、自然への関心を高める。
責任を持ってやりぬく子ども	○集団の一員としての自覚をもち、進んで責任をはたす ○根気強くやりぬく ○勤労の尊さを知り喜んで働く	○協力して、よい校風や学級をつくる意欲に欠ける。 ○作業への積極性に欠ける。 ○がまん強くやりぬく体験に乏しい ○作業の手順見通しがもてない	g 集団意識と個の役割の認識を高める活動の充実 h 目標をもって学習や作業にあたる態度の育成 i 学習や作業手順方法の訓練
健康でたくましい子ども	○体力があり、たくましい。 ○保健安全の習慣を身につけている。	○自覚して自らを鍛える意欲に欠ける。 ○食事前、用便後の手洗いなど基本的衛生習慣が不足	j 体育時の運動量の増強、日常運動を課題を持ってする。 k 衛生習慣の継続的調査と家庭への啓蒙

② 校内研修の研究内容と教育目標（本年度の実践事項）との関連

※現職教育研究主題「既知事項をもとに、自ら問題を解決する能力を育てる指導法の研究」

研究内容（研究教科 算数）	本年度の実践事項関連
(1) 基礎的基本的事項の明確化 ○ 算数科学習指導要領の内容分析と学年の系統の再吟味をする。 ○ 単元ごとの基礎的基本的事項の洗い出しと、単元の目標の設定。	c c
(2) 既知事項を生かして問題を解決する学習指導法の改善 ○ 学習課題を設定する段階での、既知事項のとりあげ方の工夫をする。 ○ 問題解決の方法を考える段階で、既知事項のとりあげ方を工夫する。	b c d b c d
(3) 授業研究のねらいの焦点化と研究の効率化 ○ 年間の授業研究に研究主題に即した授業テーマを設定し、効率的授業を行う。	a b c d
(4) 個人差に応ずる指導と個別化を図る指導 ○ 児童の実態を的確に把握する。（調査のためのテストを実施） ○ 学習活動全体を通して、一人一人の児童の能力を考慮した指導を重視する。 ○ 自力解決の場面を、指導過程に意図的に位置づけ実践する。 ○ 問題解決の喜びや成功感を味わわせる指導を重視しながら、学習意欲を育てるようにする。	c e h a e g a d
(5) 学習の方法を身につける指導 ○ 基本的な問題解決の手順、方法を設定し、授業を通して身につけるようにする。	d e h i

(4) むすび

校内研修は、現職教育計画に基づき、校内での具体的な教育活動を通して行われることになろうが、この事例は、教育目標でねらう児童像をまずとらえたうえで、年度の重点実践事項との関連を明確にし、それを研究内容との関連を明らかにし

ている。授業実践に当たっては、授業過程に即して、関連する重点実践事項を指導計画の上的確に位置づけて、教育目標と教科の目標を調和的に達成させながら、校内研修のねらいにせまることが肝要であろう。